

子育て世代と教育委員との意見交換会（移動教育委員会）

1 開催日 令和4年11月24日（木） 午後2時28分～午後3時20分

2 場所 子育てふれあいセンター なかよしひろば

3 対象者 子育て世代（子育てふれあいセンター利用者）
4名（2名町内、2名町外から結婚により多可町在住）

事務局

失礼いたします。本日は教育委員会を傍聴いただきまして、本当にありがとうございます。それでは意見交換会を始めます。初めに参加者の自己紹介をお願いしたいと思っております。最初に教育委員の方から紹介させていただきます。

（教育委員の自己紹介）

それではお母さん方の紹介を左の方からお願いします。

（①八千代区のAです。3歳、1歳の子どもがいます。②中区のBです。子どもは3歳と1歳です。③中区のCです。子どもは6歳です。④加美区のDです。子どもは3歳と今6ヶ月です。）

それでは事務局の方も自己紹介させていただきます。

（事務局職員の自己紹介）

本来は役場の会議室の方で教育委員会を開催していますが、今回は移動教育委員会ということで、子育てふれあいセンターの方で開催させていただいております。簡単に趣旨を説明をさせていただきます。多可町教育委員会では、意見交換を通して、開かれた教育行政であったり地域の皆さんの声を教育行政に活かしていきたいという思いから、昨年度よりこのような形で町内の施設の方に出向きまして、移動教育委員会という形で開催をさせていただいております。昨年度お母さん方の声を聞かせていただいて、すごく参考になりました。要望のすべてはなかなか教育行政に反映できてない部分があると思うのですが、少しでも改善していきたいという経緯もございますので、今年もこちらの場所で行うことになりました。今日はどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。それではここからの進行につきましては教育長の方にお願ひしたいと思ひます。

教育長

それでは、よろしくお願ひします。まず先ほどちょっと趣旨説明もあつたんですけども、教育委員さんの声として是非子育て世代のお母さん方と懇談したいということでしたので代表委員からお願ひいたします。

教育委員

座ったままで失礼します。今事務局の方からも説明ありましたように、こういった会議は役場の3階で書類を見ながらさせてもらってるんです。役場の方が書面上きちっとした漏れ落ちのない中身を作ってくださいますので非常に話がスムーズに進行します。学校の

こととか、それから地域のこととかいろいろあるんですが、地元の身近な人の声は、こういう書面上の話だけでは抜けてしまうことがよくあるんですね。だから今日のように、地元に行って足元見て直接こうしてお話を聞ける、声が聞けるということが非常に楽しみにしているのです。今は画面上で話をしたりスマホで話をしたりということがありますが、直接こうお会いして目と目を合わせながら話をするというのは、やっぱりその人の気持ちとか熱量を感じますので、できたら難しい言葉ではなく普段の言葉で結構ですので考えておられること、思っておられることを聞かせていただけたらうれしいと思います。「電話で話すのは連絡、話は出向いて行って」という形が一番いいと思うのです。

教育長

それではお話を聞かせていただきます。3時40分ごろ終了予定で、大体1時間程度を予定しています。最初に自己紹介していただいたんですけど、確認させていただきます。最初に八千代のAさんでしたね。3歳と1歳のお子さんはこども園とかに預けておられないのですか。

Aさん

今は、そうですね。自宅で育てています。毎週月曜はキッズランドやちよの園庭開放に、火、木、金は子育てふれあいセンターのイベントとか自由利用、水曜日は森のようちえんという形で、毎日どこかには連れ出すようにしています。

教育長

なるほど。いろんな園の様子をご覧になっておられるんですね。ご覧になってどうですか。いっぱいあると思うんですけど。

Aさん

そうですね。私はここで生まれて多可町のことよく知ってるつもりだったんですけど、やっぱり地元だから最初は恥ずかしくて、こういうところにもほとんど連れてきてなかったんです。ただ、娘の発達のことを思うと自分自身がそういう羞恥心をとって、やっぱりいろんな環境に連れていけないといけないなと思ったのです。2人連れて出るって結構、自分的には家で見ると大変なのですが、ここではすごくサポートしてもらえて、「下の子見といてあげるから、行ってきていいよ。上の子と遊んできていいよ。」って言ってくださって伸び伸びとさせていただけてますし、森のようちえんも、裸足で山の上とかを駆け巡って川にもどろんどろん入るので、本当にこの娘に合っているなって思うんです。本当に母親自身がやっぱり一歩踏み出して、そういうコミュニティに入って行って、本当によかったなってすごい今実感していて、それを子育てされてるお母さんに伝えてあげたいなっていうふうに今思っています。

教育長

ありがとうございます。それでは次にBさんにお伺いします。確か去年も懇談させていただきましたね。お子様は、3歳と1歳だそうですね。こども園とかには行かずに育てておられるのですね。

Bさん

子どもは2人とも男の子なんですけど、昨年まではこども園とかには行かずに育てていました。上の子は9月から近所のGこども園の幼稚園部に入園しました。1歳の子どものついては、今、家で見てるんですけど、私が1月から復職するので、12月からGこども園に入園です。今は子育てふれあいセンターを利用しています。私は尼崎生まれで実家は奈良県にあるんです。私自身は、マンモス校で育ってきて、中学から女子校の私立で本当に世間知らずで育ってきたので、恥ずかしさもなくて、もうガンガン進んでいってしまっています。知り合いもいなかったのも多可町にお友達ができたらいいなと思っていました。保健師さんに「子育てふれあいセンターがあるよ」と聞いてここに来させてもらったんですけど、今ではすっかりお友達もたくさんできて、すごくよかったなと思っています。

教育長

ありがとうございました。続いてCさんから話をお聞きします。6歳のお子様がおられ、今度、小学校に入られるということですね。今現在はFこども園ですね。今日、園訪問したところでした。

Cさん

そうなんです。私は西安田出身で、子育てふれあいセンターが幼稚園だったときにそこへ行っていました。息子もFこども園でお世話になりました。また、八千代に子育てふれあいセンターがあったときからお世話になっていて、今は日曜日とかに利用させてもらっています。

教育長

続いて、加美からお越しのDさんは、3歳と6ヶ月の2人でしたね。3歳児の方はキッズランドで見てもらって6ヶ月の子どもさんは自宅で見られてるということですね。この子育てふれあいセンターと一緒に利用されているそうですね。

Dさん

そうです。教室とか、いろんな学年行事とかに参加しています。私は夜も明るい東灘区で生まれ育って、夜は真っ暗の多可町に来ました。やっぱり子育て環境が違うと思うんですけど、下の子が生まれる前はお兄ちゃんが森のようちえんでお世話になっていました。1年だけなんですけど、私もやっぱり森での遊び方を知らないの、一緒に教えてもらおうと思って。やっぱり、挑戦する気持ちとかやってみようみたいなことは、森のようちえんに行ってから目に見えて変わったなと思うのです。

教育長

それでは教育委員さんから、何か聞きたいこととかありませんか。なんでも結構です。

教育委員

今、森のようちえんの話が出ましたが、私はこの前初めて園訪問で行かせていただいて、

本当にたくましい子どもたちが裸足で走り回っておりました。園訪問でたくさんのごども園の様子を見せていただいて、ごども園も本当に素晴らしい保育をされているんですが、森のようちえんで子どもたちの姿を見て、すごく私感銘しまして、是非いぶきの森へ孫を連れて行こうと思いました。ちょっとまだ行けてないんですけれども、本当に森のようちえんで育つ子どもたちって、将来どんな子どもに育っていくだろうとわくわくするのですが、お母様方は自分の子どもがどういう子どもに育って欲しいのかという気持ちを聞かせていただけたらなと思うのですが、いかがですか。

教育長

それではAさんから順にお話ししていただいてもよろしいですか。

Aさん

私は今、自分自身もママとしての成長期間だと思うのですが、本当に自分自身がまず学ばないといけないとすごく思っていて、それでいろんなところに連れていきながら自分も学習してるような感じなんです。自分自身が子どもの頃、八千代の川でよく魚を捕まえたりだとか、山に登って基地を作ったりとかしていた立場だったので、やっぱりそれを子どもにさせないっていうのは、何かこう、すごくもったいないと思うのです。自然と触れ合っているのはすごく価値あるものだし、森のようちえんに知り合いがいたので、行かせてもらう中でいろいろお話を聞いていると、やっぱり自分自身で考えて決意して決めていくということを教育の観点とされているみたいで、なんかそれってすごい大事やなと思いました。娘自身がこれをしたと決めていけるようになってきたときに、自分自身がそれを応援していきたいと思っています。今は何か、本当に、子どもと一緒に勉強してるような感じですね。子育てふれあいセンターとかに来たらたくさんのお母さんのお話が聞けたりしてメリットがいっぱいあると思っています。そして子どもを見守っていける存在でいられたらいいなと思っています。

Cさん

子どもにはやっぱり自発的に何にでも取り組んいける子になってくれたらいいかなと思ってまして、ちょっとないものねだりっていうところもあるのですが、自分の子どもは引っ込み思案で消極的なところがあるので、興味のあることを見つけて、それに対して自発的に行動してってくれたらいいなあと考えてます。今お世話になっているFごども園は結構アットホームな感じで、それぞれ一人一人の気持ちに寄り添って何が駄目とかは言わずにやりたいことを自由にやらせてくれるような感じなので、すごいありがたいなと思っています。もう一つは、人の気持ちがわかるような、相手の立場に立てるような子どもになって欲しいなと思っています。

教育長

続いて多可町以外から多可町に来られた方のお話もお聞きしたいと思います。

Bさん

私は尼崎出身で、今は尼崎といったらどんどんマンションが建って、ものすごい都会の

代表みたいになっているのですが、私が住んでたのは武庫之荘というところで、まだ私が小さいときは割と田んぼも残っていて、いろんなところにちょこちょこ自転車でいけるぐらい田舎的な要素も残ってたんです。なので、結構いろいろと体験できたのです。私は息子らには田舎に住みながらも都会とのギャップがないように育ててほしいと思っています。私自身は多可町が大好きなので、個人的には息子らにずっと多可町で住んでいてもらいたいと思っています。ただ息子の人生なのでそれは息子自身で選んでほしいと思っています。私のできることにいえば多可町を存続させることと、息子ら自身が自分でお金を稼いで生活できるようにすることというのが一番やなと思っています。どんな子になって欲しいかって一言で言ったら、自分で稼げる子、これが一番です。もちろんそれ以外に挨拶ができるとか、人の気持ちが考えられるとか、いろいろあるんですけども、自分で稼げる子一本に絞って育てていこうかなと思っています。それから今お世話になっているGこども園についてですが、家から近いというのがあるのですが、お母さん方から話を聞いていると、割と中庸的な感じのこども園だそうで、いい意味で言ったらカラーがはっきりしていない、悪い言葉で言ったら中途半端なこども園というふうに聞いたので入れたというのもあるのです。その子自身が、何がしたいのかそれこそ自分で選んで、やっていったらいいかなと。深くは考えず、すごい優柔不断な理由なんですけど、そんな感じです。

Dさん

私は、子どもにはたくさんの人とか物とかいろいろな考え方に触れて欲しいなって思っています。小学校が小規模な学校であってもたくさんのもに触れて育ててほしいと思っています。森のようちえんの親子クラスには週1回行かせてもらったし、こども園に週1回オープンで参加させてもらう行事とか、子育てふれあいセンターの行事にも極力、子どもを連れていくようにしています。多可町って子どもの見本となる大人がたくさんいるなって最近すごく思っていて、事業所さんや企業さん、お菓子屋さんでも、どんどん新しいメニュー作られていたりとか、新しく起業されたりとかされています。町外から来られてすごいこだわりのあるものとか、新しいことに挑戦をしておられる大人がたくさんおられて、それでいてその人たちが都会の知らない誰かとかの話ではなくて、身近なお友達のお母さんとか、あそこのお兄ちゃんのお父さんとかなんです。多可町はすごい話が聞ける人たちが、すごいこだわったり挑戦したりしている姿を見ることができるとなると最近すごく感じているので、なんかそういうところを見習ってというか、自分もこんな大人になれるんやなって思いながら、いいところをいっぱい吸収して、じゃあ自分はどうしていこうかなっていうのを考えられるような子に育てていってあげればなと思っています。

教育長

多可町は人がやさしいとかいろんな方が関わってくださるとか声をかけてくれて優しくしてもらえるとというのは、よく聞かせていただきありがたいなあと思っています。逆にそうは言いつつも、こうあって欲しいなあとということはありませんか。多可町の教育を預かる身としては、子育て中のお父さんお母さん方の要望というかこうあってほしいと言う願いを持っておられるのかご意見をぜひ直接聞いてみたいのでこの会を設定させてもらったのですが、ご意見とかありませんか。

Dさん

いっぱいたくさんの方の考え方に触れて欲しいっていうお話させてもらったんですけど、お話の中で中学校は近いうちに統合され、小学校は小規模のいいところを生かして引き続き現状のまま維持されるということで、はからずもというか、ズーム使って授業されたりとか、今までしてなかった技術というか、ICTでできることも増えてきたと思うので、それを生かして、中学校が合併する前から小学校間の交流はできないものかと思うのです。実際にそういう交流を積極的にされてるかもしれないのですが私たちには情報が届きにくいのです。まだ子どもが小学校に行っていないからわからないのですが、自然学校を一緒に行くとかも大事なんですけど、それよりも私は普通の国語の授業で他の小学校の子どもたちの意見が聞けるような取組はできないものかと思っています。1つの単元が終わったときにいつも友達の意見が聞けるのとは別に、他の学校の児童とオンラインで繋がって意見が聞けるとかができればいいなと思います。こんな意見もあるんだとか、こんな見方があるのかっていうのを何か普段から触れる機会を作ってもらえたらありがたいと思っています。今までは難しかったかもしれないけど、ICTが普及した今ならばできるような気がするのです。先生のご負担が増えるなど何か余計なことを言ったのかもしれませんが、せめて単元終わった後の感想文だけでもICTで交流して、知らない人の意見とか多様な意見に触れる機会を積極的につくっていただくと人格形成にプラスになると思い、お願いしたいなと個人的に思っているところです。

教育長

小学校は、歩いていけるとところに学校があるということのを大事にしたいと考えており、今ある学校を残していきたいと考えています。なおかつ今GIGAスクール構想というのが全国的にあって、タブレット端末が子どもたち一人1台行き渡っていますので、多可町でもその取組を進め、一生懸命小中学校で使っていただくよう今進めています。先生方もタブレット端末を使うことには何の抵抗もなくなってますし、いろんな活用をしていただいております。お話にあるような意見交流を他校の子どもたちとやろうと思えばできる環境は整えられてきていますので、今後そういった学習も統合を見据えてやっていかなければいけないなあと考えています。一つの同じ中学校に全ての小学校から行くことになりましたので、それぞれの小学校の子どもたちが行事なんかで一緒に交流するというのはもう簡単にできると思うんですけども、普段の授業とかでもやっていくことについてはとてもいいことだなと私も思います。全く同じ考えです。それには最初なんかの行事などで、顔見知りになるというのがまず大事かなと思います。全く知らないもの同士がいきなり授業交流といっても難しいと思いますので事前に交流等で顔見知りになっていた方がよいと思っています。ご意見を参考にさせていただきたいと思います。他に何かありませんか。

Aさん

私は国際結婚をしており、夫は多可町でALTをさせていただいていて、教育委員会の皆様にも本当にお世話になってます。夫は子どもたちと英語で話してすごく楽しんで充実した日々を送っていると言っています。それから、村の近くに住んでいるお母様と会ったときに英語を教えてもらえないかという声もいただくのでありがたいことだと思っています。ただ、ECCとかは月謝が高いということもあり、いろんな習い事させたいママにと

っては何を優先的にするかっていう経済的な問題もあるみたいで、英語は選択肢の一つにすぎないんだなと感じることもあります。中学校が統合してもこれから少子化が進むこともあり部活が制限されると聞いています。でも何か文化部というか英語の部活みたいなものが毎日じゃなくても定期的にあつたら、英語に関心のある子は絶対に行くだろうし、親にとってもありがたいんじゃないかなっていうふうに思うのです。今日の教育委員会の方が参加された多文化の集まりがあつたというお話をお伺いしたのですが、子どもが日本人という枠を超えてそういった交流できる場とかがあれば私はすごく子どもに参加させたいなと前から思っていました。なんか、英語にしろ、違う言語にしろ、もししゃべれなかったとしても、心と心が通じ合えるんだなという経験もできると思うので、そういった機会がいっぱいあつたらいいなあというふうに思いました。

教育長

ありがとうございます。最初にちょっと部活のことを言われましたので、学校教育課からいかがですか。

事務局

部活動の地域移行と言って、今、全国的に土日の中学校の部活動を地域の方で見に行くという動きがあります。多可町でも中学校でしている部活動を地域でスポーツをしたりとか、文化活動をしたりする方向に切り換えていこうと思っています。多可町の部活動で文化部といえば今は吹奏楽部しかなくもっと充実させてほしいということですが、多可町では今これからの部活動をどのようにしていったらよいかについて検討を始めたところです。やっぱり子どもたちがこの種目だけっていうことではなく、この日はこの部活動、この日が別の部活動といったいろんな機会が持てるのもいいのではないかと考えています。

教育長

今日もこのあと社会教育委員会がありその場で部活動の地域移行の話をする予定です。この会にはいろんな代表の方がおられ、地域の方、保護者、他にもいろいろな方々が集まります。土日の中学の部活動が地域移行となつたら、どんな受け皿が用意できるのかなど、いろいろな方面からの協力を得られるようなお話をしようと思っています。さて、先ほどからいろいろとご意見を出していただいているのですが、4時半となりました。もう少し時間がありますが、他の委員さんで何かありますか。

教育委員

今日はありがとうございます。前回初めてお話を聞かせていただいた時にも、お母さん方がすごくエネルギーでたくさんの意見をお持ちで、それを積極的に話していただき、また何より多可町が好きだとどの方にも言っていただいたので、私自身多可町の出身者として、すごくうれしく思いました。多可町を良くしたいっていうふうに思っていたいただいてとてもありがたいと本当に思っています。今回ご意見の内容を見せていただいた中に、「議員さんと交流をしたい」ということを言われた方がおられたのですが、どうして議場を使って議会の方と関わりを持ちたいと思われたのかお聞きしたいなと思います。

Bさん

前に懇談会に参加して今回仕事でこれなかった方の話なんですけれども「多可町はとてもいいところではあるけれども、それでも抜けというかもっと取り組んでもらいたいこともあるので、その抜けを補填するために、多可町をもっとよくしたいと思っておられる議員さんともこういった話し合いの場を作ってもらって、それこそフェイストゥフェイスで話し合って盛り上げていきたい」という理由からたぶん議員さんとの交流の話が出たように思います。それから、多可町役場の新庁舎が完成して議場も新しくなっているので、興味から入ってみたいという人もいるからそういう場所があるものは使わないともったいないという精神で、言われたんだと思います。たまたま私たちは子育て世代だったのですが、もう子育てを終わられた方とか、子どもさんがいらっしゃらない方もおられるので話し合いができればそういう人の繋がりも持てると思うのです。それこそ移住してきた人との交流会のようなどころにも行かせてもらっているのですが、例えば定住コンシェルジュのEさんとかならば、子どもさんがおられないので子育てふれあいセンターに来たことがないとおっしゃられていて、でも子育て世代の私らと何か一緒にすることによってこういう場所にも来ることができたし、とても居心地がよい言っておられました。だから、繋がりとか関わりを持つっていう面で、せっかく役場も新しくなってるし、役場ってシンボルみたいなところがあるから、みんなをそこに呼んで、1回しゃべってみたらどうやという話です。うまく伝えられてるかわからないんですけど、しゃべっておられた内容はそういうことやらなと思います。

教育長

ありがとうございます。教育委員さんが最初おっしゃられたみたいにこのように熱量というか対面で話をしていたらよくわかってくる部分もありますので、そういう機会を議員さんと持っていたくのもいいことではないかと思えます。

教育委員

他の教育委員の皆さんと違って、私は行政の職員という立場からの経験が多いですので、もう少し時間をくださいというかすぐさまコメントをするのは少し難しいのですが、皆さんのお話を興味深く聞かせてもらいました。今日のお話しをお聞きしたとき、職員の立場からの話になってしまうかもしれないのですが、人との交流については多可町の人との交流もあれば他の地域の人或いは国籍の違う形の交流などいろいろあると思うのですが、やはり子どもたちには、何らかの形で交流の機会を作るようなというか施策ができればいいのかなと思います。少し個人的な話になるのですが、私の親戚に国際結婚した人がいます。そしてその人は私がイチゴを作っているということもあり、毎年私の家にイチゴを食べに来るんですね。その人のついでで、それで何人か国籍の違う人が毎年、違うメンバーでイチゴを食べに連れてくるのです。去年はハワイに住んでたっていう中国籍の方が来られたりして、そういうふうな形で親戚というかその延長線上の付き合い中で交流をしたときに、「できたら、この人たちを何らかの形で、多可町に結びつけたいな。」という、気はありました。だからこちらに需要っていうか思いがあるのであれば相手と話をし、年1回でもよいので交流できるのではないかと思っています。そんな機会がくれたらな、っていうところぐらいの話で聞いてください。声をかけてもらったら、多分できるかもしれない

な、それは町のレベルではなくって、まずその個人レベルのところから始められるんかなっていう感想を持ちましたので少しお話をさせていただきました。

教育長

Aさんのご意見に対してのご意見だったと思います。続いてまだご意見を伺ってなかったCさんにもお話を伺いたいと思います。

Cさん

今、国際的なお話があったんですけど、私たちが小さい時って近いからFこども園に行くって感じだったので息子も同じようにFこども園に行かせたのですが、今って結構いろんな園を選んで行かれる方が多いっていうふうに聞いたのですね。あるこども園はスポーツが盛んにされてるのでそこを選んだとか、小学校に入ってからそのこども園のスポーツの時間に行ってるとかって聞いてすごいいいなって思ったんですけど、私はあまり情報を知らなかったんで、どのこども園でもこんな同じことをしているとか、このこども園はこんなことをやっているとかの情報をいろんな人に共有してもらったら、平等になってすごくいいんじゃないかなと思いました。それから私は交流って本当に大事ななと思っていて、毎年あった年長さんの交流が今年はコロナでなかったって聞いて、すごく残念に思っています。息子はちょっと新しいお友達とかできにくい性格で少し緊張するところもあるので、そう行った交流が1回でもあったらよかったかなあと思いました。それから今はご時世でいろいろな危険もあると思うのでちょっと難しい面もあるのかなとは思いますが、始めにお話があった子育てふれあいセンターと児童館の年齢のくくりの違いとかが少しわかりにくいところもあります。今までずっと子育てふれあいセンターでお世話になって、小学校に行ったら子育てふれあいセンターには行けずにパッと児童館に行かないといけないのかなあと。今まで児童館に行ったことがなくて、そういうことがよくわかってないので、情報をもらえたらすごくいいのかなと思います。

事務局

先ほど各園の情報等を教えてほしいということだったのですが、多可町のホームページの方でこども園さんの方へリンクが張っており、クリックすると園のホームページにとぶようになっているとは思いますが、まだリンクされていないこども園さんもあるようなのでとぶようにすることは必要かなと思います。実は、コロナ鍋になる前はこの遊戯室で、対面で入園説明会をやっていたのです。パワーポイントといいますか、映像を映して「この園はこういう特徴がありますよ。」ということの説明させていただいて、お母さん方は各園を選ばれていたという経緯があります。ただ、ここに来ておられるお母さん方はやっぱり積極的な方だと思うのですが、ほとんどの方は昔地域によって決められた園に行くものだと思っておられるのですね。それで、ある程度各園のパンフレットを用意していたのですが、とられる方はほとんどおられなくて、中北小校区の牧野ならばみどりこども園さん、八千代区だったらキッズランドやちよ、加美区だったらキッズランドかみというふうにもう決めておられているのです。今はコロナ鍋でそういった説明会は中断していますが、園の情報はそのような形で公開するようにしています。それから5歳児交流の話ですが、9月初めの段階でコロナが流行してきて2回中止したのですが、次は1月に交流会

を予定しています。感染防止をして実施する予定ですが、またコロナがはやってきて中止になったらごめんなさい。

教育長

それではBさん、どうぞ。

Bさん

私、何個か質問をあげさせてもらっていたのですが、その中で、ファミリーサポート利用について質問があります。妊婦健診での利用者は半額になるんですけど、不妊治療してる人も今増えてきていると思うので、その場合の利用の時も利用料が半額になったら嬉しいなって思っています。領収書を不妊治療の証明書代わりにしたらよいのではないかと思います。役場に出すだけなので、個人情報漏れることもないと思うのでこういう利用の仕方できるんじゃないかなって思うのです。

あと、関連でもないのですが、先ほどの話にも出ていたと思うのですが、西脇市のミライエでは放課後に学習支援をされてるみたいなんです。それで、小中学生に対して兵庫教育大学の学生さんが教えておられるみたいです。田舎とはいえ、やっぱり教育格差を気にされてる方も結構いらっしゃるので、多可町でもやったらいいのではないかなと思うのですが……。これも先ほど言われていましたけど、南児童館はいいのですが中児童館は結構老朽化していますよね。まちづくりプラザができたなら、多分そちらに行かれる方が多くなると思うので中児童館を改修して欲しいという声はあげないのですが、まちプラがせっかくできるので、今、中児童館では習字と図工の教室が月2回、土曜日にやられてるみたいなんですけど、それ以外にも、それこそ、英会話とかそろばんとか歴史研究とか無理のない程度にもうちょっと教室をふやしてもらったらありがたいです。たぶん、習字と図工については入れなくて困っている子もいると思うのですね。教室については私は習字と図工、それ以外ぐらいかなっていうぐらいしか思いつかないのですが、先ほどAさんが話をしていたようにさわり程度でよいので、英会話教室をやってあげたら小学生が喜ぶかなあと思ったりします。

教育長

それではまた回答をお願いします。

事務局

ファミリーサポートのご利用ということで一人親世帯で妊婦健診と乳幼児の検診の利用、あるいは同一世帯で兄弟のいる場合の二人目以降の利用も半額としております。ひとり親世帯と同一世代の兄弟ということについては近隣の市町でも実施をされてまして、妊婦健診とか乳幼児健診の時については多可町独自で、令和3年の4月から実施をしているということです。今回ご意見をいただきまして担当と共有させていただきます。当然、子育てするなら多可町でと打ち出しているのですが、不妊治療についても人口増という観点から検討する余地があるのではないかなと思っています。また、他のご病気を持ちの方の利用についてもご意見を伺っておりますので、次回に検討していきたい案件であると考えています。また、教育委員さんや上司の意見を聞きながら前向きに検討していこうと思っています。

す。児童館事業の方ですが、昨年度、習字教室で定員超で受講できない方がありまして、今年度は2部制から3部制にして受講いただいております。今後も大丈夫ではないかと思っています。昔から読み書きそろばんといわれるように、そういった教室を開設することが大切であると理解しているのですが、常時教室を開設するというのは難しいので、例えば夏チャレとか、さわりの部分は子ども教室等でとびとびに開催していけるように子ども未来課で検討していますので、ご理解いただきたいと思っています。以上です。

教育長

あと、学習支援の話ですけど、ミライエで西脇市の教育委員会がNPO法人に事業委託して運営されてるようですね。いろんな方が、先生となって学習指導を平日の放課後と土日もされてるときいています。学習塾とか無いところや市内中心部から遠いところについてはそういう支援をされてるところもあります。最近、大阪の市長が言っていたのですが、大阪市が習い事や学習塾に対してお金を出して支援をしますという内容のことを発表して行動されていましたが、学習支援についてはそういう要望もあるということをお聞きしましたので、検討していきたいなというふうに思っております。

時間がそろそろ1時間ぐらいになったのですが、最後に何かありますか。

教育委員

今日は熱量のある話をいっぱい聞かせてもらって、何かお返しのお話をしなければと思うのですが、私は一歩踏み出すのが怖いところがあって、例えば多可町の子ども的人数が減ってきてしまってどうなるのかとか、部活の話も出ましたが部活動をいっぱい広げても誰が指導するのかなど、どうしても先にそういうことを考えてしまって不安になるのです。例えば外国の方が目の前に現れたときに、いつになったら話ができようになるのだろうかお友達になれるのかなど、不安になるのです。それで私は自分自身にブレーキ引いているのかなと思うのですが、そうではなくてやっぱり一歩踏み出してみないと前へ進まないといけないと思いました。失敗するかもしれないけれども、一歩踏み出して物を見ていかないと先は見えないし前へ進まないものだと思いました。ただ、先ほど名生委員も言われたのですが、やっぱり行政はどうしても地域住民を守るということをどうしても先に考えてしまうので、ある程度無難なところから進めていって、よく話し合っただけで計画を立ててやるということが当たり前と思うのです。とは言っても、何か一歩踏み出さなければ話が進まないとも思います。今回のお話を聞かせてもらっていると、内容は違ってもどなたの思いも中味は共通なんだと思いました。役場の皆さんを前にして生意気なことばかり言いましたが、一歩踏み出すことが大切であるということをお聞きしました。少しグレーな意見となりましたが今日はありがとうございました。

教育長

教育委員さんの中から子育て中のお母さん方とまた話がしたいなあというお声がありましたので、今回このような形をお願いをしたような次第です。今日、それぞれの思いをもとに生の声を聞かせてもらってその思いは伝わりましたので、あとはこれを事業化できるかどうかいうことを、事務局レベルで考えていきたいと思っています。お母さん方も、我々も本当に子どもたちが健やかに育っていけるように、何とかして、今の多可町が大好きなん

ですけれども、さらに子どもたちも多可町が好きになってもらえるようになってほしいという気持ちでおりますので、力を合わせて一緒にやっていけたらと思っています。そういった意味で、今日はいい懇談ができたように思っています。まだまだ言い足りないことはあると思いますが、またの機会にお願いしたいと思っています。最後に何かありませんか。

事務局

以前、給食のウインナーとかベーコンとかに発癌性の添加物が入っていないかどうかというご質問をいただいております。給食センターの方には県の栄養教諭が2名おられて、食材の選択をさせてもらっています。確認すると、発がん性のある添加物が入っているウインナーとかベーコンは使っていないということでした。食材を購入するときに、添加物等とかどこの産地のものかってかということもチェックしているということでした。給食専用の安全な食材から選ばせていただいているということをお伝えさせていただきま。その回答をさせていただきます。

教育長

最後に教育委員さんから、閉会のご挨拶をお願いします。

教育委員

11月の定例教育委員会、お疲れ様でございました。子育て世代の皆様方とこうして膝を交えお話できて、先ほども教育委員さんがおっしゃいましたが、紙の上ではなくて生の声が聞けたのは私にとってもすごくよかったし有意義な時間となりました。本当に感謝申し上げます。さて、私たち委員もこうして参加はさせていただくのですが、何の力にもなっていないのではないかという思いもあります。でもこうして本日お話しさせていただく中で、もう一度気を引き締めて「子育てするならダントツ多可町」という言葉に合うように、みんなで力を合わせてやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。昨日、サッカーのワールドカップドイツ日本戦を見られたと思うのですが、私本当にサッカーについてはまるで素人で、なぜ、ゴールに入ったのに点がもらえなかったんだらう思うぐらいのものなのですが、あの一瞬は心が踊りまして、やったと思ったのです。その反面、今朝の新聞で、コロナが2週間ぶりにまた県下で4000人になったという記事を目にしまして、これはどうしたものかと思いました。教育長の話にもありましたが小学校の休校や各学校で学級閉鎖が出たということで、この大事な子どもたちが多可町の宝の子どもたちが、少々のことはあったとしても大きな影響を受けなくて頑張ってくれたらなと思っておりますとともに、お母様方のご支援をこれからもお願いしたいなと思っております。それではこれで本日の定例委員会を終わらせていただきます。ありがとうございました。